

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また、医療の進歩に対応するべく絶えず検査項目の充実に努めておりますが、この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

新規受託項目

- [2567]UGT1A1遺伝子多型解析

受託開始日

- 平成21年4月13日(月)

UGT1A1遺伝子多型解析

抗悪性腫瘍剤である塩酸イリノテカンにはDNA合成阻害作用を持ち、商品名:カンプト注(ヤクルト)・トポテシン注(第一三共)として小細胞肺癌、非小細胞肺癌、子宮頸がん、卵巣がん、胃がん(手術不能又は再発)、結腸・直腸がん(手術不能又は再発)、乳がん(手術不能又は再発)、有棘細胞がん、悪性リンパ腫(非ホジキンリンパ腫)などの治療に用いられています。

本剤の使用により骨髄機能抑制や高度の下痢などの副作用が起こることは治験の段階から認められていました。昨年6月、薬剤添付文書の「重要な基本的注意」へ本薬剤の活性代謝産物(SN-38)の主要な代謝酵素であるUDPグルクロン酸転移酵素(UGT)の遺伝子に関して、特定の多型ではSN-38の代謝が遅延し、重篤な副作用が発現する可能性が高くなるので、注意を要することが追記されました。続いて11月にはUDPグルクロン酸転移酵素遺伝子多型検査が検査実施料に新規に収載されました。

本検査を実施することにより、より良い治療管理ができるものとして期待されています。

検査要項

項目コード	2567	
検査項目名	UGT1A1遺伝子多型解析	
検体量/保存方法	EDTA加血液 2.0mL/冷蔵(4℃)	
検査方法	インベーター法	
報告内容	UGT1A1*6	UGT1A1*28
	G/G (-/-)	(TA)6/(TA)6 (-/-)
	G/A (-/*6) ヘテロ接合体	(TA)6/(TA)7 (-/*28) ヘテロ接合体
	A/A (*6/*6) ホモ接合体	(TA)7/(TA)7 (*28/*28) ホモ接合体
所要日数	3~10日	
検査実施料	2000点 (D006-7 WT1mRNA定量に準じて算定)	
判断料	125点 (血液学的検査判断料)	
定価	35,000円	
備考	1) 塩酸イリノテカンの投与対象となる患者に対して、その投与量等を判断することを目的として、インベーター法により測定を行った場合、当該抗悪性腫瘍剤の投与方針の決定までの間に1回を限度として算定できます。 2) 検査に当たり、被験者への十分なご説明をいただき、被験者ご自身の承諾が文書で得られていた場合にのみ検査の受託をさせていただきます。 検査前後の被験者への十分なカウンセリングもお願いいたします。 (ご依頼に際してはヒト遺伝子検査依頼書をご使用下さい) 3) 報告は「親展報告書」にてお届けします。	

参考文献

Ando Y. et al. : Cancer Res. **60**, 6921 (2000)

Minami H. et al. : Pharmacogenetics and Genomics. **17**, 497 (2007)

Isoobe H. et al. : J Clin Oncol. **25** (18S), 2539 (2007)